

# のコンプリートカーをチェック!!

チューニングの楽しみ方は千差万別。ノーマルを買って自分の好みに仕上げていく方法や最初からプロショップがバランスよく手を加えたクルマを購入する方法がある。今回、買ってすぐに走りを楽しめるガレージアイ発のコンプリート仕様を紹介しよう



乗り味を  
スバ西浦で  
試してみたわよ♡



モータージャーナリスト 藤島知子  
東京モーターショーでガイドツアーの説明員を行った後、SEMAショー見学のために遠米するなど多忙な日々を送るタントモ。スバ西浦では久しぶりにサーキット走行を満喫していた

**今月の燃費報告**

10月30日 市街地490.7km走行	11.6km/ℓ
11月7日 横浜～三重～蒲郡～横浜942.5km走行	13.0km/ℓ

前回までのあらまし  
前回Defi-DZ3のインプレ後、あらためてサスティングの奥深さを知ったフジトモ。現在12月9日のスーパーバトルに向けて模索中だ

## 必要最低限ながら 走りを楽しめる仕様

今回ご紹介するのは、ロータスやZ、インプレッサやレガシイなど、多岐にわたる車種のチューニングに定評がある、浜松のガレージアイが提案するコルトRのコンプリートカー「COLT Baby Gang(コルト・ベイビー・ギャング)」。

パーツの単品販売ではなく、あくまでも全体のバランスを考慮したコンプリート販売が基本となり、サスペンション、ブレーキパッドとオイルの変更。さらに、マフラー、フロントバンパー、サブコンを用いたチューニングを最初から施すことで、5MTのノーマル比+40ps、トルクが+5.5kg・mの2003psで26.9kg・mを実現。これだけのメニューを盛り込みながら、ノーマル価格+50万円高の24.8万円で販売されているのだ。

「コルトRはこの種(コンバクトカー)のクルマでもロールポイントやフレーム強度について優位なクルマですし、初めからターボで設計されたエンジンは、チューニングすると2&ターボ同等のスペックで乗れるようになるのも魅力です」と語る代表の岩井サン。サーキットに向いたことがないストリートレベルのユーザーに乗りやすくしてクセのないクルマを提供することで、もっと走りを楽しんでもらえるクルマづくりを目指しているという。

事前情報によれば、足は軟らかめでワインディング向けのマイルドなセッティングだと聞いていたが、低速～高速域を併せ持つスバ西浦モーターパークを走って見たところビックリ! ソフト目なサスペンション



「コルトRが持ち合わせた素質を活かして、ワイズアイブからサーキットまで表面な走りを楽しめるクルマを目指しました。若い人にも手が届きやすい価格帯を提供することを目指しています」  
岩井 草サン

ンが適度なロールを生み、ナチュラルに荷重変化を感じさせてくれる。また、ストロークが長く、つねに4輪が路面に接地しているのが、LSDが装着されていなくてもトラクションが抜けることなくトルクステアもない。ブレーキに関してもフラットな効きで扱いやすく、ベダルコントロールがしやすい。その結果、ドライバー自身でクルマの動きをコントロールすることができ、走る愉しさを満喫させてくれる。

一方、エンジン関係についてはコンピュータチューンが施されているので、4500rpmから上の回転域でシートにカラダが押し付けられる力強さをみせる。だが、過度なパワー特性ではなく、ターボらしい、気持ちのよい加速力なので、結果として素直で扱いやすいFF車として仕上げられている。

乗り手を考えた「扱いやすさ重視の仕上げ」に、熟練のチューナーがコルトRのユーザーが求める走りを、先回りして考案していると感じることができた。

# ガレージアイ発

## ガレージアイ『COLT Baby Gang』のチューニングポイント



今回テストしたクルマはノーマルバンパーだったが、10月末に完成したばかりのフロントスポイラーは、コルトのスッキリとした顔つきとは打って違って、低重心でボリューム感を与える迫力あるデザインが特徴

### GARAGE I COLT-R Baby Gang Specifications

最大パワー	203ps/6300rpm
最大トルク	26.9kg-m/3400rpm
マフラー	トミーカイラ【ステンレス製】
コンピュータ	パワーエンタープライズ
車高調	TEIN
スプリング	F:3kg/mm R:3kg/mm
ホイール	純正
タイヤ	純正 Neova
AD07(F&R:205/45R16)	
パッド	DIXCEL
シートベルト	TAKATA 4点式

■Baby Gangに関する問い合わせは……  
ガレージアイ TEL053-585-0530  
静岡県浜松市浜北区内野4591  
<http://www.garage-i.jp/>

今回参加させていただいた走行会は……

ホイールとタイヤはノーマル。車高についてはやや低くなっている印象を受ける。カーボン調のステッカー、フロントタイヤからリアエンドに流れるラインをあしらった、控えめなステッカーチューニングがスマートな方向性を現しているかのようだ



車高調はTEIN製のスーパーコンパクト、サスペンションは一般道の走行を考慮して、バネレートは前後ともに軟らかめとなる3kg/mmを採用。ブレーキパッドはDIXCEL製で併せてブレーキフルードも変更している



ステンレス製のマフラーはトミーカイラのオリジナル仕様。87dBなので比較的静かなのも日常的に付き合しやすい理由といえる



サブコンはパワーエンタープライズ製。立ち上がりのレスポンスはいいが持て余さない。適度な扱いやすさにつながっている



本来の資質を生かしたとあって、基本的にエンジンルームはノーマル。サブコンによるチューンとマフラー変更で203ps/26.9kg-mが発生。4500rpmから上の加減速はかなり爽快!

### ライトウエイト&スワフトミーティング

■問:GTカープロデュース TEL0538-37-6677 <http://www.gt-produce.com/>

年に一度のユーザーによる「スワフト日本一」を決めるキングofスワフトも開催された「スワフトミーティングin中部2009」。今回はGT走行会やプチ走行会にドライビングスクールも併催され、会場には多くのスポーツドライビングファンが集まった。



ドライビングスクールでは田中マサナオ(ナント前日入りしてコース攻略を体験!)が講師を務めてくれた



■ADVAN Racingに関する問い合わせは……  
問:横浜ゴム TEL03-3431-9981  
<http://www.yokohamstire.jp/>

### またまた、レブ・コルトRもバージョンアップ!!

ADVAN Racing RC II [16×7.0J 45]  
ADVAN NEOVA AD08 [205/45R16]  
ADVAN Racing RC III [17×7.0J 45]  
ADVAN NEOVA AD08 [215/40R17]



RC III 17インチ RC II 16インチ

さて今月のレブ号だが、今回はフロントのキャンバーを3度30分にネガ寄りに変更。そして、コルトR用のサイズが設定された期待のRC IIIを装着した。RC IIの16インチから17インチに変わり、タイヤが薄型化して上下にコソコソとした動きがインチャップ気分を盛り立てるが、一輪ごとに2kg程度重くなっているものの、コーナーではサイドウォールが切



出口の口径は76.3φ、パイプ形50.8φのステンレス製のRM-01A装着で3psアップ。ノーマル比-2.1kgを実現



剛性感とレスポンスのよさがしっかり得られるRC III。俊敏性と安定感が要求されるサーキットでは17インチがオススメ

り出し直後の切れ込み具合が鋭くなった。クリッピングポイントまで早いタイミングで辿り着けるので、コーナーの立ち上がりに向けてコントロール性が大幅に向上するというメリットも得られた。  
また、マフラーもフジツボ製のRM-01Aに変更。アイドリング時の音量はノーマルと変わらないのに、中回転域以降の心地よいスポーツサウンドが◎。砲弾型のサイレンサーも重心低下に効果アリ。

### 待望の17インチ化とマフラー交換を実施